

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 奈良市立富雄北幼稚園 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 631-0071

奈良県奈良市三松一丁目5-6

E-mail kg-tomiokita@city.nara.lg.jp

Website \_\_\_\_\_

幼児児童生徒数 男子 46名 女子 38名 合計 84名

幼児・児童・生徒の年齢 4歳 ~ 6歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

持続可能な社会を形成する担い手を育てることを目指し、就学前教育としての幼稚園での遊びを通して、実践してきた。

「環境教育」「食育」「世界遺産学習」「国際理解」「伝統文化」について、年間を通して取り組んだ。

具体的には、菜の花プロジェクト、茶道教室、奈良の伝統文化を柱に、活動を行った。

#### ① 環境教育にかかわる活動 「菜の花プロジェクト」

5歳児が昨年9月に種を撒いた菜の花を5月に収穫した。

まず、収穫した菜種を乾燥させ、足で踏んで種を落とし、とうみを使ってさややごみを取り除き、油絞りの様子を見せてもらった。

菜種油絞りをして食用油として使われることや東大寺の灯明の明かりになること、自動車を動かすことができCO2削減になることを知ることができた。また、油絞りの際にでた油粕は肥料になり、無駄なく循環していくことを知り、環境問題やエコについても考えるきっかけになった。

#### ② 国際理解にかかわる活動 「茶道教室」

地域の方に来ていただき、年3回実施した。初めは、「茶道って何だろう」と思っていた4歳児だったが5歳児と一緒に体験し、5歳児のお点前を見

たり真似たりすることで、茶道について学ぶことができた。3回目は、親子茶道教室を行った。子どもたちが、保護者にお茶の点て方やいただき方、お菓子の取り方など見本を見せながら教える姿があった。2年間を通じて体験することで、5歳児は4歳児に、また、子どもたちは、自分が学んだことを保護者へ伝える姿が見られ日本文化を体験する貴重な機会となった。

### ③ 奈良の伝統文化にかかわる活動 「お水取りの話」

春の遠足で東大寺大仏殿へ出かける。二月堂にまつわる奈良の昔話「良弁杉」の紙芝居を見たり、地域の方より、春を呼ぶ奈良の伝統行事「お水取り」の話を聞いたりした。

パワーポイントや写真を使って説明して下さったが、4歳児には、難しいと思っていたが、籠もりの練行衆が作る「糊こぼし」と呼ばれる椿に興味を持った4歳児の女兒が市のはぐくみセンターで企画された「糊こぼし作り」の体験に参加したり、二月堂のお松明を家族で見に行ったりする姿が見られた。保護者からも「せっかく、奈良にいるのですから」と関心がよせられた。

「お水取り」の話を聞くことで、自分たちの住む奈良を知り奈良の素晴らしさや1,265回、一度も途絶える事なく「不退の行法」と言われるには様々な人々に支えられ、長い歴史を刻んできた思いを感じることができた。

①



②



②



④



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

紙芝居「良弁杉」  
奈良国立博物館「お水取り」パンフレット

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

今回のプロジェクトは、(菜の花プロジェクト・茶道教室・「お水取り」の話)は、奈良市立こども園カリキュラム バンビーノプランに基づき、富雄北幼稚園の指導計画に位置付けて、年間計画を立案、実施した。  
幼児が大人になって世界の人々と友達になれるよう、まずは日本のことを知る体験活動を通して学びにつなげたい。幼稚園・家庭・地域が連携してお互いの育ち合えるよう、計画をたて必ず、実施後の振り返りを行いながら次回に活かせるようにした。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

前年度の取り組みの課題や改善点について話し合いをもっている。転勤により職員編成が毎年変わるため、継続して取り組むことへの難しさを感じるが、紙面での記録を元に全職員が共通理解したうえで実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題

学級懇談会や園だよりで、保護者へ主旨説明をし、理解を得ている。地域コーディネーターや学校評議員や地域の方々には、運営委員等で園の取り組みを伝え、人材発掘や保育補助の協力をいただいている。園行事との調整が難しく、十分な振り返りができなかったことと、互恵性のある活動になるよう考えていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

それなりの評価と理解を得ているが、特にありません。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

特にしていません

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

特にしていません

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

特にありません

（3）平成30年度の活動計画

- ・世界遺産である東大寺への遠足や奈良の昔話・わらべ歌遊び等に親しむことで自分たちの住む町や奈良に愛着を感じている。そこで、東大寺の瓦と同じ粘土を使って、親子でミニ鬼瓦づくり体験をすることで、世界遺産への関心を深め、奈良に誇りをもつ。
- ・菜の花プロジェクトや食育で栽培計画を計画的に実施し、旬野菜の収穫の喜びやクッキング保育を楽しんでいる。栽培⇒収穫⇒再び栽培することで、食物が循環していることやエコロジーについて考える。